

科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 28 年度・前期	対象学科・専攻・学年	2 年 機械工学科
授業形態	実技	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	三原 大介	居室 (もしくは所属)	講義棟 2 階研究室
電話	0285-20-2184	E-mail	mihara@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. ソフトボールの送球、捕球、投球が出来る。 2. ルール・審判法を理解し、ゲームが出来る。 3. バレーボールのトス、パス、レシーブ、サービスが出来る。 4. ルール・審判法を理解し、ゲームが出来る。 5. 水泳のクロール、平泳ぎ、背泳で 25m 泳ぐことが出来る。		⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1～5 について、実技試験よって 5 段階評価する。			
評価方法			
1. ルールを理解し、正しい捕球、守備、打撃フォームができ、チームプレーができることの試験を行い 5 段階評価する。 2. ルールを理解し、スパイク・トス・レシーブ・パスのテストを行い、チーム成績を勘案し 5 段階評価する。 3. 水泳のクロール・平泳ぎ・背泳ぎの 3 泳法について 5 段階評価する。 *授業態度、基本的技術、チーム成績を総合的に勘案し、A、B、C、D、E の 5 段階で評価する。 *欠課数が 1/3 を超える者は評価の対象にしない。			
授業内容			
ソフトボール 1. 準備体操、用具、服装、授業内容、評価等についての説明、送球、捕球の練習、整備体操 2. 準備体操、守備、攻撃の基本、送球、捕球、投球の練習、整備体操 3. 準備体操、4つの班分け、走塁の練習、バットの持ち方、打撃の練習、整備体操 4. 準備体操、送球、捕球、走塁の練習、トスバッティング、ピッチングの練習、整備体操 5. 準備体操、ルール、審判の仕方の説明、ゲーム、整備体操 6. 準備体操、ルールの確認、ゲーム、整備体操 7. 準備体操、基本技術の確認、ゲーム、整備体操 8. 新体力テスト、持久走 バレーボール 9. 準備体操、トス、パス、レシーブの基本、8つの班分け、班別の練習、整備体操 10. 準備体操、サーブ練習、トス、パス、レシーブ練習、整備体操 11. 準備体操、スパイクの基本、サーブ練習、スパイク練習、整備体操 12. 準備体操、サーブ、スパイク練習、ブロックの基本、整備体操 13. 準備体操、ルール、審判の仕方説明、サーブ練習、ゲーム、整備体操 14. 準備体操、ルールの確認、サーブ、スパイク練習、ゲーム、整備体操 水泳 15. 準備体操、平泳ぎ、クロール、背泳各 25m 以上泳ぐ、整備体操			
*雨天など天候不順の場合は、室内競技または体育講義を実施する。			
キーワード	バレーボール、ソフトボール、水泳、持久走、コミュニケーション		
教科書	特になし		
参考書	特になし		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
学校指定の体操着、体育館シューズを着用すること。それ以外は認めない。用具は学校で用意する。自分のラケットを持参しても良い。体育着忘れは減点かつ実技参加は認めない。遅刻は減点、遅刻 3 回は、授業 1 回の欠席にする。水泳は事前の授業の中で説明する。夏期水泳の時には水着、水泳帽、バスタオル、ゴーグルなどを用意すること。各クラスの週番は、必ず授業前の用具の準備、連絡事項の伝達を行うこと。			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 22 日		